



第7回世界水フォーラムサイドイベント
シンプル・低価格技術の活用による非都市地域の
水課題の解決



Solution for water challenges of non-urban area
with simple and low-cost technologies
(SE0089)

2015年4月15日 11:20~13:20

大邱会場 (KOREA ファッションセンターDFC_101)

Daegu EXCO and Korea Fashion Center



1. 開催趣旨

国連の報告によると、安全な飲料水の確保状況は、都市と農村のギャップが際立っており、地球上で安全な水に浴さない人の数10億人の内、7億4300万人が農村部であり、世界の農村人口の84%にあたるのが、世界の水と衛生問題の課題のひとつとなっている。都市においては、大規模な事業や投資が導入されやすいのに対して、非都市域はこうした取り組みから取り残されがちであり、都市との格差は拡大する一方である。

このような状況の中で、非都市域での対策を促進するためには、できるだけ安価で維持管理の容易なシンプル・低価格技術の活用が必要である。飲料水、廃水処理、廃棄物処理分野での適用が有望視されるシンプル低価格技術を取り上げ、特に非都市地域の課題解決への効果を検証するとともに、今後の取り組みの方向と推進方策を明らかにする。

2. 主催/後援

主催：特定非営利活動法人日本水フォーラム、シンプル・低価格技術研究会
(シンプル・低価格技術研究会はこの行事のために設けられます)

後援(名義)：ADB, JICA, JETRO, UNDP

スポンサー：民間企業

チラシ

3. 詳細企画内容（全体で 120 分）：

（敬称略）

オープニング挨拶	山田雅雄	シンプル低コスト技術研究会代表	
キーノートスピーチ非都市地域の課題とシンプル・低価格技術による取り組みの必要性	TBI	日本水フォーラム	
事例報告 1: BioSandFilter による飲料水対策	T.K.K. Ngai	CAWST – Centre for Affordable Water and Sanitation Technology, Canada	
事例報告 2: 上向流式生物接触ろ過設備による飲料水対策	原口公子	北九州市上下水道協会	
事例報告 3: バイオメッシュ利用の排水処理対策	飯田克己	活水プラント(株)	
事例報告 4: エコサニテーションによる排泄物対策	高橋邦夫	日本下水文化研究会 (JADE)	
事例報告 5: アフリカのサヘル地域での水と衛生の改善: ブルキナファソの事例	船水尚行	北海道大学大学院	
休憩			
パネルディスカッション	speakers and experts, 司会ムハンディキ・ビクター	名古屋大学	
総括			
閉会挨拶	竹村公太郎	日本水フォーラム事務局長	

連絡先 山村尊房, W&E Research Institute, Tokyo, Japan weri2013@sj9.so-net.ne.jp